

生徒会執行部の任期が始まる

5月19日の選挙を経て選ばれた生徒会長・副会長と新執行部の認証を昨日実施した。大切なことは、信任投票ではなく、それぞれに二人ずつが立候補してくれたことだ。まずそのことにお礼を言いたいし、その上惜しくも当選しなかった候補者の二人も、新執行部員として名を連ねてくれているということにも改めてお礼を言いたい。それは、それだけ姫路別所高校への愛が深いのだと理解している。

本校がアップデートを続けるために、新執行部の皆さんには重要な働きをしてくれることを大きく期待している。もちろん、全ての生徒の皆さんの新執行部への協力が必要なことは言うまでもない。

伝えなければ伝わらない

今年度の本校の学校案内が完成したので、中学校に持参した。その際、各中学校の校長先生方は、

A 中学校では、「姫路別所が良くなっていることはよく知っています。カジュアルフライデー、カジュアルウィークが問題なくできているんですね。」

B 中学校では、「10年前に約10000件あった遅刻が、去年は600件弱になったんですか。落ち着いているとは聞いていますが、どんな取り組みをなさったのですか。」

C 中学校では、「女子野球を立ち上げたんですか。ちょうどうちに野球部に入って男子と一緒に頑張っている女子生徒がいます。」などと仰っていた。

本校の取組は、こちらから中学校にお伝えしないとなかなか伝わらない。我々教職員はこれからも中学校訪問をするなどして努力する。生徒の皆さんも自分の母校の中学校を訪れて、お世話になった中学校の先生方に挨拶に行き、その際姫路別所高校の良いところを宣伝してきてほしい。受検する人が増えれば、合格者のレベルが上がり、ますます良い循環になる。そしてそれは母校を存続させることにもつながる。

別件。前回66号をアップしたところ、『いつでも明るい松村』ではなく『いつでも明るい安村』ですよ。」と6月30日の登校時に指摘してくれた生徒がいた。初回にアップした際の間違いをすぐに訂正することができた。大変ありがたかった。もう一つ、ある中学校の校長先生から『「群青」読んでいます』と言っていただいた。中でも「目指せ投票率100%！目指せ投票率日本一の高校！」という2021年10月28日Vol13の記事に言及された。いずれも愛読者の存在がわかり、嬉しい気持ちになった。

3年2組の取組が秀逸だ。名付けて「39プロジェクト」。「『ありがとう』を口に出そう」「お互いに『ありがとう』と言ひ合える関係性を構築しよう」「卒業の時、保護者に『ありがとう』と言えるようにしよう」生徒38人と担任1人で39人、感謝のサンキュとかけて、「39プロジェクト」だということだ。

伝えなければ伝わらない。長所はちゃんと伝える。それは、相手を敬う、リスペクトすることなのだ。

「触覚」が命を守る

手に痛い、熱い、冷たいなどが触れると、何も考えずに手を引っ込める。脊髄反射と呼ばれる反応で、「生命の安全を守るために備わっている緊急避難的な運動(kango-roo.comより)」として、その感覚は脳まで行かずに脊髄で反応して、その行動を起こさせている。ちなみに触覚には4種あり、感覚点の分布は平均すると、1cm²あたり、痛みを感じる痛点100~200、触ったことを感じる触点(しょくてん)25、冷たさを感じる冷点6~23、温かさを感じる温点0~3となっており、痛みが最も緊急性があるということがよくわかる。感覚点は体の部位で差異があり、手のひらは物を掴むので触点が100/cm²以上存在する。

注射は痛いものだ。だが「痛くない注射」が実用化されつつある。蚊に刺されてもその時は気付かないことが多い。蚊の針の構造は、痛さを感じさせないようにできているからだ。それを研究した注射針の開発に各社が鎬(しのぎ)を削っている。一日も早い実用化を望む。

今日は7月7日、七夕(たなばた)に何を願う？

旧暦7月7日は毎年必ず上弦の月となり、月明かりの影響を受けにくいので、織姫のべガと彦星のアルタイルの2つの星の間に天の川が横たわっているようすを観察することができることから、ロマンティックな設定になったのだろう。織女に対して手芸上達を願う祭である乞巧奠(きこうでん)を由来として、五色の短冊に願いを込める。書くことで目標を可視化し、周囲の支援も得られる。君は何を願う？

We keep on trying. 挨拶日本一の高校・遅刻ゼロの高校に私たちはなる 文責：姫路別所高等学校長 篠原 歩